

JISA ダイバーシティ委員会：「障がい者雇用企業見学会」を開催

平成 28 年 11 月 18 日、障がい者を積極的に雇用している都内企業 3 社を同日に見学する「障がい者雇用企業見学会」が開催された。この見学会は、「実際に障がい者雇用の現場を見学することで、参加者が障がい者雇用における具体的な取組イメージを持てること」を目的として JISA ダイバーシティ委員会／障がい者雇用促進チームが企画し、関係者除く 11 名が参加した。

■ 見学先①：株式会社 DTS パレット

見学先 1 社目の DTS パレット社では、冒頭に会社概要と社内の取組について説明があった。2011 年の会社設立から現在までの 5 年間の歩みや取組事例について話を聞くことができ、各種制度の充実化や相談体制作りなど、会社として障がい者が働きやすい環境を提供できるよう努めている様子を知ることができた。特徴的だったのは「通院休暇」という制度で、定期的に通院が必要な社員に対し、月に 2 回、欠勤扱いとしない通院休暇の取得を認め、社員の健康管理に役立てている点で、社員が安心して継続的に働くことができる制度だと感じた。

【会社概要】

設立	2011年10月27日
資本金	3,000万円
所在地	東京都港区新橋6-19-13
代表取締役社長	坂本 孝雄
従業員数	29名 (2016年11月現在) <内、障がい者27名> ★障がい種別： 知的、精神、身体（免疫機能、聴覚、上下肢機能）



PDF 化作業の様子

その後、紙資料の PDF 化、印刷・検品作業、名刺作成の各業務について、実際に社員が働く様子を見学した。現場では、障がい種別に関係なく社員同士が協力し合いながらいきいきと働いており、特に、50 種類以上のフォーマットがある名刺を一度もミスなく作成・納品し続けている担当者の話は印象的だった。

見学後、冒頭の説明と実際の現場見学を受けて、参加者と受入企業の間で活発な質疑応答が行われた。

■ 見学先②：NSW ウィズ株式会社

見学先 2 社目の NSW ウィズ社では、冒頭に西郷正宏社長から「障がい者雇用を進めるにあたり、私たちも先輩企業から多くを教わったので皆さんへ『恩送り』をしたい。何でも聞いてほしい。」と挨拶があった。続いて、同社グループの取組の歴史、特例子会社設立の背景について話があり、障がい者採用時の工夫、読書拡大器や音声読取ソフト導入による視覚障がい者への配慮、多様な障がいを持ったメンバーがチームワークで仕事を行っている様子等を知ることができた。最後に、障がい者雇用を成功させる 3 つのポイントは、「①トップの理解と発言」、「②本気で進めるキーマンの存在」、「③ハローワークなど外部機関活用」であると西郷社長からアドバイスがあった。

【会社概要】

設立	2009年10月1日
資本金	3,000万円
所在地	東京都渋谷区桜丘町31-11
代表取締役社長	西郷 正宏
従業員数	31名 (2016年4月1日現在) <内、障がい者25名> ★障がい種別： 知的、精神、身体（視覚、聴覚・平衡機能、音声・言語・そしゃく機能、肢体不自由、内部）



マッサージルーム

その後、設備管理、PC の資産管理、教育コンテンツ作成・集計等の作業の様子とマッサージルームを見学した。地下フロアを活用したマッサージルームには国家資格を有するヘルスキーパーが常時待機しており、グループ会社の社員が疲れを癒す場となっている。マッサージを受けたい社員は WEB サイトから予約することができ、利用者も多いとのこと、障がい者雇用が社員の健康維持・促進に役立っている様子を伺い知ることができた。

■ 見学先③：トランスコスモス株式会社 / 株式会社トランスコスモス・アシスト

最後の見学先となったトランスコスモスグループでは、親会社であるトランスコスモス社と特例子会社であるトランスコスモス・アシスト社それぞれについて、障がい者が働く現場を見学し、障がい者雇用に対する取組を伺うことができた。

トランスコスモス社では、障がい者は「ノーマライゼーション推進部」という専門組織に所属しているが、メンバーの多くは自部門から他部門（売上を立てるサービス系部署等）にアサインされ、常駐して業務を行っており、健常者と同等の立場で勤務している点が特徴的である。主な業務は、Web サイト構築・運用、インターネット広告制作等を行う「ライン系業務」と、名刺・アンケート等のデータエントリ一、DM の封入・発送を行う「管理系業務」に分かれており、例えば、身体障がい者のデザイナーが DM 広告を作成し、知的障がい者のメンバーが封入・発送するなど、障がいの特性に応じて担当業務を振り分けている。現場見学した中で特に、大手企業のインターネット広告制作を一手に引き受け、高いスキルを持つ障がい者が健常者と同等のレベルで作業している点が印象的だった。

特例子会社であるトランスコスモス・アシスト社では、知的障がい者を中心に雇用しており、「ビジネスマナー」、「報連相の徹底」等、社会人としての基本を大切にしている。業務内容は、会議の音声データの文字起こし、名刺情報の DB 化、名刺や親会社の社員証作成等の事務作業で、障がい者メンバーに複数の業務を経験させ、特性を見極めた上で業務を任せている。今回の現場見学では、障がい者メンバーが見学者に向けて自身の業務内容を実演付きで説明し、見学者からの質問にも的確に答えていた。音声データの文字起こし担当者が、驚異的なスピードで文字に変換している姿には圧倒された。

いずれの会社も、日頃のコミュニケーションによって障がい者との信頼関係がしっかりと築き上げられており、障がい者の成長を支援していくという企業としての姿勢が強く感じられた。

今回見学した 3 社とも、社内における取組事例や苦労話など、現場の生の声をたくさん聞くことができ、近年の障がい者雇用の動向や企業としての社会的責任について共通認識を深めることができた。これから障がい者雇用を進める参加企業にとって大変有意義な会となった。

※見学会の中で出た質疑応答の内容は、[こちら](#)から参照できます。

(JISA ダイバーシティ委員会／障がい者雇用促進チーム：柴山、廣瀬、山北)

【会社概要】 ※トランスコスモス株式会社	
設立	1985年6月18日
資本金	290億6,596万円
所在地	東京都渋谷区渋谷3-25-18
代表取締役社長兼COO	奥田 昌孝
従業員数	9,474名 (2016年9月末現在) ※人数内訳非公表 ★障がい種別： 精神、身体（聴覚、肢体不自由）が中心

【会社概要】 ※株式会社トランスコスモス・アシスト	
設立	2005年4月1日 (新会社としての事業開始日)
資本金	4,450万円
所在地	※親会社と同様
代表取締役社長	古原 広行
従業員数	33名 (2016年10月1日現在) <内、障がい者28名> ★障がい種別： 知的／発達障がい中心